

ほくと

2005
Vol. 4

議会だより

つどえ！魅力ある北杜へ



うんとこどっこい！だいこん抜けた

9月定例会



市長の施政方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
 平成16年度の決算を認定・・・・・・・・・・・・・・・・P3～5
 議案審議の内容/決算審査意見/会期日程
 委員会レポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6～7
 広域行政組合報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8
 一般質問に18議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9～17
 【声のひろば】7人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18～19
 北杜市ウォッチング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P20

北杜市誕生1周年



北杜市が誕生して、一周年を迎えました。

民の皆様にも現状をご理解いただき、情報を共有するとともに、職員とも一丸となり、意識改革や価値観の転換を図っていく決意です。

将来を見据え、諸施策を確実に実行し、北杜市発展のために、しっかりとした基盤を築くため、市民の皆様にも現状をご理解いただき、情報を共有するとともに、職員とも一丸となり、意識改革や価値観の転換を図っていく決意です。

白倉市長の施政方針



記念式典（11月1日）

市制施行一周年事業

高根ふれあい交流ホールにおいて記念式典を挙行。また、記念事業として、平山郁夫先生の講演会をはじめ、クラシックコンサート、ふれあいコンサート等を企画し、文化振興に役立てたいと考えています。

行政改革

「市民の目線で考え、将来が見える計画」を基本姿勢とし、行政改革推進委員会を設置、来年には行政改革の基本理念や推進事項などを盛り込んだ「行政改革大綱」「行政改革アクションプラン」を策定し、実行に移す計画です。

新・北杜市の誕生

来年三月十五日に、小淵沢町との合併が正式に決定し、新・北杜市が誕生します。

韓国抱川市との国際交流事業

日本と韓国の歴史ととって戦後六十年、日韓

交正常化四十年の節目の年、芸術、学術、スポーツ等、両国民の各種交流が実施されています。

新エネルギーへの対応

環境創造都市建設に取り組む本市では、来年三月までに北杜市の地域エネルギービジョンを策定します。

環境と経済の好循環のまちモデル事業

環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の対象地域として決定されました。今後とも、地球環境保全のため、新エネルギーの活用策を研究・検討し、環境日本一の北杜市をエネルギー面でも目指します。

峡北地区最終処分場

明野町を十二ブロックに分け、説明会を実施し、整備検討委員会においては、現地視察も行われ、候補地の絞り込みを行うことが決定されました。

北杜市営火葬場

かねてからの懸案であ

る火葬場が、「北の杜聖苑」として稼働。

最新の技術を結集し、無煙・無臭化と煤煙の除去を図るなど、公害対策も万全です。

障害者福祉施策

身体障害者療護施設および知的障害者授産施設の建設を進め、健常者と障害者が地域において、支えあつて暮らす社会推進のため、可能な範囲で支援します。

観光の振興

観光キャンペーンなどを通して、一層の誘客を図り、魅力ある観光地づくりを推進します。また、平成十九年放送のNHK大河ドラマ「風林火山」の決定にともない、最大限活用できるよう考えています。

農業の振興

安心・安全な農産物の提供と、地産地消を推進するため「北杜市地産地消施設連絡会議」を設置、安全な農作物の提供を進めます。

市営住宅の整備

市営住宅建設を計画的に推進するため、民間にも協力を求め、定住人口の増加、市の活力向上を目指します。

景観行政団体

県知事の許可を受け、地域の特色に対応した「景観計画」を策定し、「景観計画区域」の指定ができるようになります。

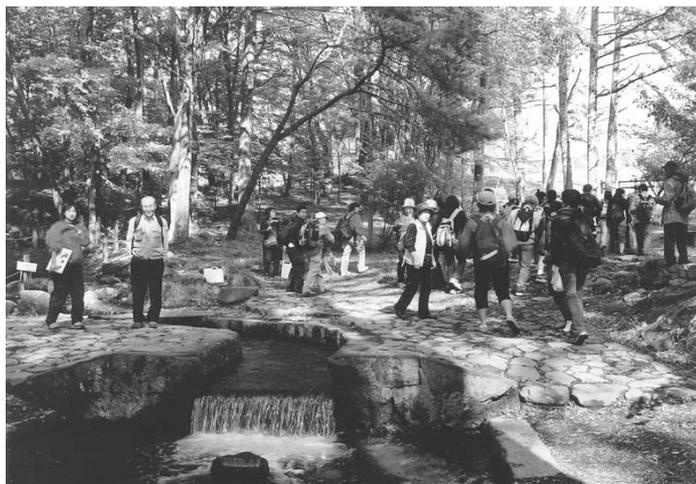
教育の振興

明野中学校校舎の竣工式を終え、須玉中学校屋内運動場改築工事については、来年三月の完成予定。将来に向け、一層充実した教育環境を目指しています。

金田一春彦記念図書館

二千点あまりの資料展示に向け、リニューアルオープンの予定です。

9月定例会



名水百選・三分一湧水

九月定例会は、九月二十一日から十月十一日までの二十一日間の会期で開催されました。開会当日、市長の施政方針と議案説明がありました。

九月定例会に提出された議案は、決算二四件、補正予算一三件、同意二件、承認一件、選挙一件、条例六四件、発議二件、その他六件、合計一三三件でした。委員会ごとに案件を慎重審議し、原案どおり可決・認定・同意しました。

一般会計補正予算 (第3号)

十二億六一四万八千円を補正し、予算総額が二八三億二、八六〇万二千円となりました。

歳入(補正財源)
地方交付税、諸収入、市税、繰越金、県支出金、繰入金等

歳出(使いみち)
地球温暖化防止対策事業(中小水力発電事業)、

観光施設整備事業、公立学校施設整備事業等

おもな事業の内容

環境にやさしいクリーンエネルギー「水力発電」事業
クリーンエネルギーの導入を推進する第一歩として、NEDOの補助金で北杜市内に設置する。本年度予算額は二億六、九三〇万四千円。

観光施設整備事業
富士の国やまなしを、さらにアピールするため北杜市の観光PRの看板設置と施設整備の充実を図る。
予算額は六、四九三万四千円。

北杜市・小淵沢町の合併準備事業
来年三月の合併に向けて、各担当部署が行う諸事務費の運営費用。予算額は一、二四二万四千円。

特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計
- 一般被保険者療養給付費老人保健特別会計
- 一般会計繰出金
- 介護保険特別会計
- 介護認定審査会経費
- 特定入所者介護サービス
- 簡易水道事業特別会計
- 工事請負費
- 下水道事業特別会計
- 工事請負費
- 農業集落排水事業特別会計
- 一般会計
- 一般管理費
- 白州尾白の森名水公園事業特別会計
- 一般管理費
- 武川ふるさと活性化事業特別会計
- 農産物直売所事業費
- ケーブルテレビ事業特別会計
- 総務管理費
- 温泉事業特別会計・甲斐大泉温泉
- 事業費(財源組み換え)
- 須玉財産区特別会計
- 穂足財産区管理費
- 日向矢窪山恩賜県有財産保護財産区事業費
- 浅尾原財産区特別会計
- 組合運営調整基金

平成16年度 決算

(平成16年11月～平成17年3月)

歳入	科目	決算額 (単位:千円)	構成比	1人当たり	歳出	科目	決算額 (単位:千円)	構成比	1人当たり
市税		14億7,503万5	7.9%	33,479円	議会費	7,304万4	0.4%	1,657円	
地方譲与税		2億7,051万0	1.5%	6,139円	総務費	22億2,088万8	12.5%	50,408円	
地方交付税		36億7,341万2	19.7%	83,376円	民生費	21億2,049万8	11.9%	48,129円	
分担金及び負担金		2億8,840万4	1.6%	6,545円	衛生費	12億5,460万9	7.0%	28,476円	
使用料及び手数料		2億1,665万5	1.2%	4,917円	農林水産業費	23億8,706万2	13.4%	54,179円	
国庫支出金		24億0,932万8	13.0%	54,685円	商工費	2億8,815万5	1.6%	6,540円	
県支出金		17億7,113万4	9.5%	40,200円	土木費	14億9,690万6	8.4%	33,975円	
繰入金		9億8,319万9	5.3%	22,316円	消防費	2億0,473万8	1.1%	4,647円	
市債		49億7,410万0	26.7%	112,898円	教育費	18億6,925万8	10.5%	42,427円	
その他		25億3,840万9	13.6%	57,615円	公債費	30億3,603万0	17.0%	68,909円	
合計		186億0,018万6	100.0%		その他	28億6,002万5	16.2%	64,915円	
					合計	178億1,121万3	100.0%		

規約変更

市町村の合併に伴い、必要な事務手続きの変更です。

市川三郷町及び甲州市の設置に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更

中央市の設置並びに中道町及び上九一色村の区域の一部を甲府市に編入すること並びに上九一色村の区域の一部を富士河口湖町に編入することに伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更

小淵沢町を北杜市に編入することに伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更
甲府市、中道町及び上九一色村の区域の一部の合併に伴う山梨県市町村総合事務組合の財産処分
市川三郷町及び甲州市の設置に伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

字の区域の変更

基盤整備促進事業（長坂町日野地内）の区画整理工事に伴い維持管理上、支障をきたすので新字界を定める。

条例の廃止

北杜市低開発地域工業開発促進のための固定資産税の免除に関する条例
租税特別措置法の一部改正に伴い免除条例を廃止する。

条例の制定

北杜市大泉屋内スポーツ施設条例の制定
合併時の暫定条例を廃止し、新たに条例を制定する。
北杜市たかねの湯条例の制定ほか六一件の条例制定
平成十八年四月一日から指定管理者制度の移行のため条例を制定する。

監査委員の決算審査意見

24会計を審査

行政機構の合理化と経常経費の節約を

代表監査委員 清水喜一



平成十七年六月三十日および七月二十七日から二十九日の四日間、市監査委員の清水喜一、内藤紀宏、篠原眞清氏の三名で監査を行い、代表監査委員の清水喜一氏から本会議において監査意見書の報告がありました。

(要旨)

このたびの決算は合併後の決算ということで、通常の決算審査とは異なり、事業期間が短いため年度間の比較や財政の分析が困難でありました。一般会計、特別会計及び歳入歳出外現金並びに基金運用状況を審査した結果、決算はその計数に誤りはなく、諸帳簿、証書類も整備され、会計経理は正確でありましたが、決算の事務処理について、流用が多く見受けられました。これも合併後の持ち寄り予算のためと解されます。地方分権時代が進む中、少子高齢の進展など、本市においても行政財政を取り巻く環境は厳しいものがありますが、多種多様化している行政に対する需要に的確にこたえるため、行政機構の合理化と経常経費の節約を行い、数多くある施設等の指定管理者制度への移行により、効率的な行政の運営を行っていただきたいものです。

特別会計決算の内容

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	22億4,215万6千円	20億1,491万3千円
老人保健	22億9,179万9千円	22億9,123万0千円
介護保険	13億5,178万9千円	13億0,427万6千円
居宅介護	2,972万1千円	2,845万9千円
簡易水道事業	15億8,423万0千円	15億6,234万4千円
下水道事業	31億2,531万8千円	30億9,010万4千円
農集集落排水事業	11億6,731万9千円	11億5,508万9千円
土地開発事業	5,025万9千円	5,022万5千円
白州尾白の森水公園事業	2,015万0千円	1,653万7千円
武川ふるさと活性化事業	7,420万4千円	5,839万7千円
ケーブルテレビ事業	9,478万9千円	8,973万5千円
温泉事業	6,059万3千円	4,333万8千円

財産区特別会計

(単位：千円)

財産区	歳入	歳出
明野財産区	428万6千円	195万4千円
須玉財産区	2,272万1千円	1,591万8千円
高根財産区	1億5,956万3千円	1億0,630万4千円
長坂財産区	900万2千円	252万7千円
大泉財産区	227万6千円	99万0千円
白州財産区	156万7千円	120万1千円
武川財産区	629万9千円	156万7千円
浅尾原財産区	3,412万3千円	3,157万1千円
秋田財産区	1,200万9千円	665万7千円

市営病院特別会計

病院関係	歳入	歳出
塩川病院	10億0,068万0千円	10億1,574万2千円
辺見診療所	1億5,069万4千円	8,567万0千円
白州診療所	5,575万2千円	4,480万3千円

議員発議



医療水準の向上を

意見書

自治体病院の医師確保対策を

提案理由

自治体病院は、地域の中核病院として、高度医療、小児医療、救急医療など地域の医療体制の確保と医療水準の向上に努めているところですが、医師の地域偏在、診療科偏在等により、地域医療を担う医師の不足が深刻化しています。よって、医師確保対策、医療水準の向上を図るため提出するものです。

意見書

少子、高齢社会を迎え、地域住民が安全で安心な生活を送るため、地域の医療環境の整備・充実が極めて重要な課題となっている。

自治体病院は、地域医療の中核として、高度医療、特殊医療、小児医療、夜間救急、輪番制二次救急医療等多くの採算部門を担いつつ、医療提供体制の確保と医療水準の

向上に努めている。

しかし、昨年四月から実施されている新たな医師臨床研修制度の必修化に伴う大学への医師の引き揚げや、医師の地域偏在、診療科偏在等により、地域医療を担う医師の不足が深刻化している。

特に、小児科や産婦人科については、過酷な勤務条件、医療訴訟の多さなどにより医師希望者が減少しており、医師の確保が極めて困難な状況にある。そのため、各地で診療の縮小・休止や廃止に追い込まれる病院が相次いでいる。

このような医師不足は、全国的な問題となっており、各自治体は、医師確保に向けて、懸命の努力を続けているが、大変困難な状況にあり、地域医療の確保・継続が危ぶまれている。

よって、国におかれては、都道府県、大学、学会、医師会等との連携のもと、早急に抜本的な医師確保対策を講じられるよう強く要望する。

非核平和都市宣言を決議

提案理由

世界の恒久平和は人類共通の願いであることは言うまでもなく、合併前の旧町村においても、それぞれが非核宣言を行っていました。

これを踏まえ、北杜市として改めて平和への意思を明らかにするため提出するものです。

決議文

世界の恒久平和は、戦争のない安全で豊かな生活を築くことであり、世界共通の願いである。核兵器の廃絶と恒久平和の実現を願い、人と自然が躍動する環境創造都市を守るため、北杜市は非核平和都市を宣言する。
平成十七年九月二十一日
北杜市議会

同意

北杜市名誉市民

平山郁夫

(神奈川県鎌倉市)



松尾山恩賜県有財産保護
財産区管理委員会
坂本 静(須玉町)

9月定例会 会期日程

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 9月21日(水) 開会 ・本会議 ・諸報告 ・会期の決定 ・会議録署名議員の指名 ・市長施政方針 ・提出議案の説明 ・議員協議会 決算説明 9月22日(木) ・議員協議会 決算説明 9月26日(月) ・本会議(一般質問) ・各委員会付託議案審議 9月27日(火) ・本会議(一般質問) 9月30日(金) ・議員協議会 ・文教厚生常任委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 10月3日(月) ・主要事業視察(全議員) ・議員協議会 ・文教厚生常任委員会 10月4日(火) ・本会議 ・議員協議会 ・文教厚生常任委員会 10月5日(水) ・本会議 議案審議・監査報告 ・文教厚生常任委員会 10月6日(木) ・文教厚生常任委員会 10月7日(金) ・本会議 委員長報告・議案審議 ・議員協議会 ・文教厚生常任委員会 閉会 |
|--|---|

委員会レポート

審議のあらまし

総務常任委員会

9月26日

文教厚生常任委員会

9月26日
10月6日

付託された一般会計補正予算（第3号）ほか六議案を審議し、全議案を原案通り可決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

送している市の自主放送を、他地域で見られるのはいつか、またチャンネルは。

答 今年十二月ごろから見られる。白州・武川は9チャンネルで見られ、須玉・明野・長坂は後日広報でお知らせする。

付託された一般会計補正予算（第3号）の一部に付帯決議を付け、ほか二七議案を審議し、原案通り可決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

一般会計補正予算（第3号）
問 地方交付税について
答 特別交付税も増額され、普通交付は前年比三八%の増額となった。

問 温泉施設を指定管理者に
答 温泉施設を指定管理者が値上げして、サービス低下になるような場合はどうなるのか。

一般会計補正予算（第3号）
問 「ミニ水力発電事業」補助金の内容と効果は。
答 地元の要請があり、新エネルギー・産業技術総合開発機構から三〇%の補助金が交付される。

問 市債（借金）で利率五%という高い率のものがあるのか。
答 最高利率五%以内と設定しているが、一部を除き、それ以下である。

問 温泉施設を指定管理者が値上げして、サービス低下になるような場合はどうなるのか。
答 五六施設が対象。委託契約で、料金については条件をつける予定。

問 「はつらつシルバーの集い」事業が二二三カ所
答 一カ所四〇人を想定、材料費一人あたり三〇〇円を計上している。

問 臨時財政対策債の減額はなぜか。
答 ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）
問 高根・大泉地域で放

問 温泉施設を指定管理者が値上げして、サービス低下になるような場合はどうなるのか。
答 五六施設が対象。委託契約で、料金については条件をつける予定。

問 「はつらつシルバーの集い」事業が二二三カ所
答 一カ所四〇人を想定、材料費一人あたり三〇〇円を計上している。

問 市債（借金）で利率五%という高い率のものがあるのか。
答 最高利率五%以内と設定しているが、一部を除き、それ以下である。

問 温泉施設を指定管理者が値上げして、サービス低下になるような場合はどうなるのか。
答 五六施設が対象。委託契約で、料金については条件をつける予定。

問 「はつらつシルバーの集い」事業が二二三カ所
答 一カ所四〇人を想定、材料費一人あたり三〇〇円を計上している。

問 臨時財政対策債の減額はなぜか。
答 ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）
問 高根・大泉地域で放

問 温泉施設を指定管理者が値上げして、サービス低下になるような場合はどうなるのか。
答 五六施設が対象。委託契約で、料金については条件をつける予定。

問 「はつらつシルバーの集い」事業が二二三カ所
答 一カ所四〇人を想定、材料費一人あたり三〇〇円を計上している。



あこがれの選手、一緒に良かった

問 温泉施設を指定管理者が値上げして、サービス低下になるような場合はどうなるのか。
答 五六施設が対象。委託契約で、料金については条件をつける予定。

ミニ水力発電事業
についての付帯決議
1、六ヶ村堰土地改良区の理解を得て協定書を作成すること。
2、地域振興策も含めた費用対効果を明示すること。
3、財源確定後の報告をすること。
4、一般競争入札を基本



いつまでも若いのよ

問 福祉タクシーステムの運営は。

介護保険会計補正予算 (第1号)

答 民間の旅客輸送業者に補助金を出し、管理運営は業者が行う。リフト付改造車二台分である。

問 施設介護サービス給付費が減り、特定入所者のサービス費が増える理由は。

問 若神子公民館工事費の内容は。

答 十月からの制度改正にともない、居住費と食事が自己負担になったための減で、補足的給付の増である。

答 公民館の解体、水道ゴミステーション移設、担い手センター改造工事、支所周辺の改修など二、三三〇万円。

下水道会計補正予算 (第1号)

老人保健会計補正予算 (第1号)

問 公共下水道整備より合併浄化槽のほうが効果的ではないか。

問 市の老人保健の対象人口は。

答 コスト面で有利な合併浄化槽事業を推進していきたい。

答 八月三十一日現在で七、七一人。

大泉屋内スポーツ施設

条例の制定

問 施設料金の統一にあたり、どのような配慮をしたのか。

答 屋内ゲートボール場の整合性、介護保険施設であること、受益者負担など考慮して統一料金とした。

郷土資料館条例の改正

問 全部の資料館を指定管理にするのか、将来はセンター資料館を考えているのか。

答 今後さらに検討が必要。センター館の方針はまだ決まっていない。

建設経済常任委員会

9月26日

付託された一般会計補正予算(第3号)ほか

四四議案を審議し、全議案を原案通り可決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

指定管理者制度の導入

について

問 指定後の市職員、施設職員の処遇について。

答 市職員は引き上げ、臨時・パートは継続して雇用するよう指定管理者に要請する。

問 施設により収益性には差もあるが、建設された目的と基本を明確にして、地域、団体等を大切に、営利主義にならないよう、運営してほしい。

答 公募する施設の選定委員会まで検討していく。

問 施設を分離して単独で指定管理にできるのか

答 条例に規定している全施設で、指定管理者制度を導入する。

三分一湧水館条例の制定

問 季節による利用期間、開館時間等はバラバラだが、利用度の多い夏期や週末等を考慮して統一し、効果的運営を期待する。

答 指定管理者制度の導入に伴う条例改正で、市長の承認を得て変更することができ。

山梨県市議会議員合同研修会

議員研修報告

山梨県市議会議員合同研修会

八月十二日(金)午前十時からフルーツパーク富士屋ホテルにて、山梨県市議会議員合同研修会が開催されました。

全国市議会議長会客員講師 村上栄一氏の「議会制度と運営の基本」について約二時間にわたり意義ある講演がありました。

北杜市管内主要事業視察研修

十月三日(月)午前九時から北杜市管内で事業が施工されている現場など十五カ所を、行政の説明をふまえて現地視察研修を行いました。



清里駐車場

清里駐車場条例の制定

問 収入のない施設、市から委託料が出ていて無料、来年から利益がなく、なる施設もある。分離して検討すべきでは。

答 施設によっては利益があり、借地料収入を考えると運営可能と判断されるので、基本として指定管理者制度を導入していく。

広域行政組合報告

9月
定例会

一般質問

9月定例会では18人の議員
が質問に立ちました。
これはその要約です。

北杜市・小淵沢町 衛生組合議会

9月14日(水)

午後一時から第二回定例会が開催されました。平成十六年度決算認定歳入合計二億五、六〇八



ごみ処理センター

万三、六七七円、歳出合計二億三、四三三万九、八三三円、差引残額二、一七二万三、八四四円が可決されました。

今回、補正予算(予備費)六、二六四万円の予算を可決しました。

峡北地域広域 水道企業団議会

9月2日(金)

午後三時三〇分から第二回定例会が開催されました。

平成十六年度決算認定が可決され、監査委員の任期満了に伴い、古屋富藏氏(北杜市高根町)と斉藤賢氏(韮崎市中田町)が選任・同意されました。

北杜市・小淵沢町 病院組合議会

9月14日(水)

午後四時から第二回定例会が開催されました。平成十六年度決算認定が可決されました。また、血液浄化センター(透析施設)の充実を図るため、隔日でおこなっていたものを毎日(土

日を除く)できるように、小児科・泌尿器科の診療改善を行ったことの報告がありました。

峡北広域行政 事務組合議会

7月13日(木)

午後二時から第一回臨時会が開催され、ごみ処理特別会計の専決処分一件、条例の制定一件、条例の一部改正

午後二時三〇分から第二回定例会が開催され、一般会計決算認定、補正予算(総務費・教育費)、教育委員に小林仁一氏(北巨摩郡小淵沢町)が審議のうえ、原案どおり認定・可決・同意されました。

二件、その他一件、ごみ処理特別補正予算一件、収入役に浅川晃氏(韮崎市龍岡町)が審議のうえ、原案どおり可決・同意されました。



パソコンで自分を磨く

北杜市・小淵沢町 学校組合議会

9月14日(水)

チャイルドシート等について



ほか1件

保坂多枝子議員

高根町

問 乳幼児一人につき一つ必要になるチャイルドシートは、新品の購入額の二分の一、限度額二万円の助成があるが、使用期間も短く破損も少ない。他市ではリース制をすでに導入しているところもあり、取り入れる考えは。市長 リースにすると、一度着用したものを二次使用するため、事前にシートの洗浄、修理、安全点検をして使用可能になる。それを誰が受け持つか、また、安全補償の損

害保険も検討課題であり、現行でいきたい。
問 シートの購入には経済的負担も大きく、使い捨てでない資源の活用を市長 万が一のときの補償など、行政として負担が多くなるので現行で。
防災システムの取り組みは
問 大型台風や地震が頻発しており、危機管理は緊急な課題である。専任職員を配置し、避難場所の確保、誘導方法、行動

計画、施設整備等の課題も多い。専任職員を配置し、有事には一カ所に対応できる官民一体となった防災システムが必要と考えるが、現在の取り組みは。
市長 防災関係機関の役割、事務業務などの分担を明確にし、的確な判断に基づいた行動が取れるよう、データの収集作業をほぼ終え、素案の構成作業中であり、早期完成に努めている。
問 忘れない、あわてな

いたために、訓練の継続化と備蓄品の状況は。
市長 地域防災計画に組み入れたい。
総務部長 日用品は10三セット。投光機、発電機、医薬品、担架等、順次整備中である。



チャイルドシートで安全に

行政改革の推進状況と今後の取り組みは



ほか1件

浅川哲男議員

大泉町

問 市長は行政改革にいち早く取り組み、行政改革大綱の施策に向け、委員会の設置と委員10人を委嘱した。今議会に行革の一部ではあるが、市の施設にかかわる指定管理者の指定手続きに関する条例改正と、一〇六の施設を民間に管理を指定し、行政改革のスピードを速め、その改革に期待しているが、その推進状況と今後の取り組みは。
市長 簡素にして効率的な市政実現と推進のため、

行政改革推進委員会を設置し、改革の基本理念・基本目標など委員から意見をいただいたが、行政改革とはいわば組織のスリム化であり、住民自治の確立、人材育成、行政の透明化など、行政の仕組みの改革が必要である。今後、月一回くらいのペースで委員会を開催し、来年三月には答申を受け、行政改革大綱および行政改革アクションプランを策定する考えである。
おおむね平成十八年か

ら五年間のスケジュールで、私を本部長として、計画に基づき進めていきたい。
小中学校の統廃合の検討を
問 新市の建設計画（十力年間）は小淵沢町を含むものであるが、人口の見通しは二〇一五年が四万九、二三一一人となり、十力年間で一、〇二一人減少し、少子高齢化が進む。市内十四小学校のうち、一学級一〇人前後の



進む小規模校

小規模校が半数以上となり、中学校においても年々

減少していくので、学校の統廃合については。
市長 学校の統廃合は、状況を総合的に勘案し、議会やPTAなど、多くの皆さんの考えや意見を聞き検討していくが、その前に少子化対策に全力であたる決意である。

県立男女共同参画推進センターの誘致を

ほか1件



植松一雄議員

白州町

問 男女共同参画社会実現のための活動拠点として、県内に「ぴゅあ総合」「ぴゅあ富士」「ぴゅあ峡南」の三つの県立推進センターが設置され、会議室や育児室を備えて、各種の研修・講習・交流など多岐にわたる活動が行われているが、市内から「ぴゅあ総合」までは距離が遠く、時間もかかり、その利用率はきわめて低い。

答 県の検討委員会で、峡北地域に地方拠点センターの整備が望まれ十一年が経過するも設置はない。当市では現在プランを作成中であるが、県立地方拠点センターが開館できれば、その推進に大きく貢献できると確信する。よって「ぴゅあ北杜」の誘致を切望するが、

設置を強く要望

市長 地方拠点センターは、その推進に重要な施設であり、設置できることを強く望み、県の策定した推進センター整備計画に基づき、北杜市の設置を強く要望していくが、

不法投棄の防止に市民の参画を

市長 豊かな自然環境と景観を誇る北杜市であるが、

実施に向け検討

市長 監視パトロールにより、回収・内容調査・警察への通報を実施して

資源ゴミの北杜市としてのマニュアルを

ほか1件



風間利子議員

武川町

問 七月に議員研修で、新潟のエコパークいずもざきと、小諸のイー・ステージの廃棄物処分場を視察した。イー・ステージの処分場は、山梨県の旧六四市町村のうち約八割に当たる五一市町村が利用している施設であった。その折、長野県では分別収集が九五%、山梨県では一%という説明があった。両処分場から分別マニュアルを送ってもらったが、分かりやすく、感心した。

答 分別収集は市町村の責任で、環境問題の基本であり、北杜市としても資源ごみの品目が一目で分かる、統一したマニュアルづくりが必要と思うが、市長 現状は合併前の方法で分別収集を行っている。早期に分別方法、品目を統一し、ごみの分別・資源化に取り組みたい。現在、小淵沢町と、北杜市環境基本条例の制定に向け協議を進めている。この環境基本条例に沿って、基本計画および一般

廃棄物処理基本計画を策定し、分別収集マニュアルを作り、ごみの資源化推進を図りたい。

子育て支援について

問 子育て支援は、国の少子化対策の重要な施策である。北杜市でも次世代行動計画、北杜ダイジエスト版が五月に配布された。ファミリーサポートの設置は平成二十一年までに計画されている。ファミリーサポートの早期設置の検討は、



市長 ファミリーサポートセンターについては、平成二十一年までに市内に一カ所設置するが、計画策定後、民間運営のファミリーサポートセンターが二カ所設置された。子育ては社会全体で支援することが必要であり、講演会、研修会を数多く開催し、家庭や地域の養育、機能の向上を図っていく。愛育会は重要な活動がされているが、全市に組織化、活発化できるように行政としてもフォローしていきたい。

少子化と教育問題は



ほか1件

小林元久議員

長坂町

問 北杜市の小中学校は、急激に進む少子化により、空き教室が出るのが予測され、三〇人学級や、一学級一〇人以下になることも考えられる。少数の小学校に高齢者の憩いの場をつくり、元気の良い子どもと、高齢者とのふれあう場づくり、地域の中で子どもと大人が集える場となることで、小学校を地域のセンターにすることができると。小学校の空き教室と高齢者のかかわり・活用

について、また、少子化対策について、具体的な政策は。市長 子育て家族の経済的負担軽減として、出産祝い金制度があり、段階的支援を実施している。乳幼児医療費助成、就学前児童や、保育園の保育料軽減対策も実施している。北杜市の次代を担う子どもも成長を、地域の事情に応じて支援できるように努めていく。教育長 余裕教室は、大人と交流するスペースな



アスベストの対策は

検討していく。家庭での教育、地域がかかわる教育が必要であり、自然を活用した原っぱ教育を定着して、心身ともに健康な子どもの教育を推進したい。アスベスト(石綿)対策は 問 アスベスト問題が新聞等で報道されているが、早くから危険を知りながら、対策を放置してきた行政の責任は大きい。市内に二〇〇以上ある公共

施設の中で、アスベストの使われている施設の調査結果と、市民への不安解消と対策は。市長 公共施設のアスベスト使用状況把握のため、平成八年以前に設置された一三五施設について、所管する公共施設の調査を実施している。調査完了次第、結果を公表する。不安解消策として、情報提供とアスベスト使用が確認された場合には、早急に飛散防止などの対策を講じていく。

市立病院の医療体制の充実



ほか2件

渡邊英子議員

長坂町



医療体制の充実を

問 市関係の病院は山梨甲陽病院、塩川病院、白

州診療所、辺見診療所の四力所だが、診療科目が少ないため、拠点となる病院でないのは明らかだ。病院の縮小、患者離れは目に見えているが、診療内容の見直しや、医師の確保など、可能な限りの財政投資をしていかなければならない。市立病院への診療科目の増設や、患者さんへの広報活動、医療体制の充実。市長 地域医療の確保のため、公的医療機関の果

たす役割は大きい。診療内容の見直しや医師の確保など、医療機関ごとに診療体制も異なるので、それぞれの特色を生かし、地域医療に貢献してもらいたい。広報活動については、医療法により制限されているので、法律の範囲で市の広報を活用した案内を考えていく。ワークシェアリングの取り組みについて 問 仕事が多いところが、少ないところに分配して

職を与え、職の充実を図るワークシェアリングだが、北杜市の取り組みと導入は。市長 雇用の維持、創出を図ることを目的として、労働時間の短縮を行い、雇用、賃金、労働時間の適切な配分を目指すものであるが、職場の確保、雇用機会の確保等、全力で応えていく。マイクロボスの運用について 問 運転のプロである専

門業者と委託契約を結び、安全対策に万全を期すべきたが。市長 スクールバスは専門の運転手だが、視察や研修などには必要に応じ職員が運転するか、外部に委託している。市の職員が運転する場合は公務なので、時間外手当など、市職員給与条例の範囲で対応している。

合併一年経過の行政執行上の課題は

ほか1件



林 泰彦議員

白州町

問 新市合併から約一年を経過する中で、行政執行上の課題については、合併前の地域意識が残るが、統一された意識改革を進める必要がある。その取り組みは。

市財政の実態を把握した現状認識の上で、今後の市政への取り組みは、行政で従前の行政サービスや合併協定合意事項に相違が出る。市民への説明と理解を得る必要があるが、どう進めるか。また、臨時職員は、旧

町村間で身分の扱いや給与格差があつたが、各職種別にどんな調整をしたか。身分、給与の安定策への今後の取り組みは。

市長 合併後は北杜市全体の観点から、各種施策を進めるため、機会あるごとに旧町村意識をなくすよう訴えてきた。今後市民、諸団体の相互交流、行政との情報共有を促進するなど、職員も含めた意識改革に努める。財源の確保と、徹底した事務事業の見直しで、



白州工場誘致場所

歳出の削減に努める。多方面から検討し、積極的に説明責任を果し、

市民のご理解を得て、行革を進める。

臨時、嘱託職員については、本年四月から不均衡が生じないよう調整し、今後とも同様な方針で任用する。

農村地域工業等導入団地への工場誘致促進を

問 市長は、企業誘致を積極的に進めることを表明した。北杜市内の農工団地への工場誘致の進捗状況と現在の実態、合併

後の農村工業導入実施計画の位置づけ、未導入団地への工業導入、荒地化した団地の管理改善対策などは。

市長 市内には、法に基づく農工団地が十一団地あり、十五の企業を誘致している。旧町村の実施計画は、承継されている。未誘致の団地にも、優良企業の誘致を行う。

未入居団地の実態把握と行政指導は、事業者に対し状況説明を求め、対応を検討する。

観光基本計画の取り組みは

ほか3件



利根川 昇議員

高根町

問 観光基本計画は、本年度中の策定を目指す予定だが、現在の取り組みと内容は。

市長 観光振興戦略を積極的に展開するため、県から、北杜市と小淵沢町が一体の地域として、魅力ある観光地づくりモデル事業地区に認定された。地域の観光の現状を分析し、課題を掲げ、国・県の観光振興計画と整合性のある計画を立てる。十二月に県と協議を行い、来年三月には策定を

完了する。平成十八年度からは、この基本計画に基づき推進していく。

市内観光施設内の連携策は

問 観光ガイドマップはあるが、市内観光施設間の連携策として、スタンプリーとか、北杜市に親近感を持つようなキャラクターの制作の考えは、市長 小淵沢町も含めて観光コースを設定し誘客を図る。スタンプリーは、北杜市全体の施設を

連携できるよう検討し、キャラクターも考えたい。

清里駅前再開発事業について

問 このまちづくり事業で、駅前広場の完成に向け、最大の地権者であるJR東日本や、山梨交通との協議の状況は。

市長 JRからは関係部局による調整結果が、まもなくいただける予定である。山梨交通は、バスターミナルやレストランの移

転について、建物補償も含め現在協議中である。

森林セラピー（療法）事業の導入を

問 森林セラピーが近年注目を集めている。市全体でこの事業に取り組み、地域の新しい魅力・機能の創出を図れると思うが、市長 いやしの森事業は、森林レクリエーションや森林浴を通じて、健康の維持増進を目的とした事業。森林文化の森と、現在ある温泉施設や休憩施

設などを組み合わせ、いやしの森事業に取り組む。すばらしい自然の中で（キープ協会）



明野廃棄物最終処分場 について



五味良一議員

明野町

問 なぜ、明野廃棄物最終処分場は浅尾ありきで進むのか、処分場の進め方に疑問を感じる。一年以上の間、着工できなかつたか、なぜ浅尾に執着するのか理解したい。一部の人たちが事が進められ、住民を無視した形できたために、長い期間着工できなかつたかを、もつと真剣に取り組むべきだが。

処分場予定地に、全国でもめずらしい、国の重要文化財になるような貴重な遺跡が発見され、処分場の埋め立て予定個所に、水飲場跡地があるのでは、ということ調査が始まっている。近隣では多数の土器等も発見されているが、遺跡調査の



梅之木遺跡で出土した土器

扱いは、
県の安全基準は全国トップレベルと言つが、住民が求める安全とは何かを理解してほしい。明野は朝穂堰があり、堰より上流はすべて湧水を利用してきた。住民が生活する上流部へ、このような施設を造ることが問題であり、何十年、何百年先はどうなるか分からないものを、しかも、水が湧いている場所に処分場を造るのか、慎重に協議すべきだ。

今まで誘致できなかった原因を追究し、もつと住民の目線で見、住民の理解できる説明や説得が必要だが。
地元理解を深め 積極的に取り組む
市長 整備検討委員会において、明野町全域を対象とした適地調査を行い、会議をすべて公開するなど、透明性を確保している。浅尾ありきとは捉えていない。
遺跡が事業地内の残地

森林予定地の一部で確認されたが、処分場本体への影響はなく、遺跡の保存と処分場の建設は、十分調整可能である。
上流部を一律除外するような基準を設けているところは、全国的に例がない。自家用井戸等については、モニタリングなど、具体的な対応を図る。問題解決に向け、全戸を対象に理解を得るよう対応していく。

歳出削減を目的とする 入札制度について



小野喜一郎議員

長坂町

問 北杜市で行われている少額のもの以外の工事の請負、物品の購入、業務の委託管理などの契約は、ほとんどが指名競争入札である。その理由目的、効果は。
地方公共団体の締結する売買、賃借、請負、その他の契約は一般競争入札を原則とし、指名競争入札、随意契約等の場合は、政令で定める条件を満たす場合のみ認めるとしている。本市では条件をクリアできているか、

できていない場合の法的根拠は。
北杜市の入札状況を見ると、平均落札率は九五・七％、最高落札率は九九・八％、全国市民オンブズマン連絡協議会が、公共工事のうち九五％以上の落札率のものは、談合疑惑度が非常に高いと指摘しているが。
一般競争入札制度は、歳出削減に有効に機能することは実証済み。山梨県でも、平成十九年度実施を目指し、いわゆる電

子競争入札制度の導入を図る。北杜市として、歳出削減を図るひとつの方法として、早急に導入すべきだが。
一般競争入札が実施された場合、地域経済に多大な影響も及ぼす。市内業者の保護、育成からも市内業者のみに限定した入札も制定する必要がある。この北杜方式ともいう新しい制度は、本市の歳出削減に役立つが。

効率的な入札制度の確立に努める
市長 北杜市では一般競争入札は実施していない。目的・効果について実績があり、信用できる誠実な業者への発注が可能である指名競争入札を基本としている。
落札率は設計額の大小や設計精度、工事内容に左右され、一概に落札率による判断は難しい。談合防止については、指名業者の非公開や現場説明

会を廃止するなど、公正な入札の執行に努めている。
現在、山梨県市町村総合事務組合の電子自治体共同事業において、電子入札システムの共同利用を検討中。システムを活用し、導入を検討する。
市内業者だけに限定する入札制度は、今後の検討課題。地域経済の活性化と、効率的な入札制度の確立に努める。

小淵沢町との合併後 衛生組合の運営は



鈴木今朝和議員

長坂町

ほか2件

問 北杜市・小淵沢町衛生組合について、合併後、組合の運営、処理料金、職員の配置などは。

また、広域行政事務組合の運営費の均等割負担金は、斐崎市の七倍も負担しているが、今後の対応は。

市長 合併後は一部事務組合でなく、市の一組織となる。料金は峡北南部センターとは均衡を欠いているので、老朽化が進む南部衛生組合の将来計画も見極め、不均衡につ

いて検討する。指定管理者制度導入も視野に入れる中、施設全体の効率的な運営を検討したい。

一部事務組合の均等割負担金についても、是正すべく引き続き要望する。

生涯学習の体制づくりは

問 生涯学習の体制づくりは、旧町村の過去の流れの中で実施している行事・イベントが多い。社会教育計画の立案の状況は。

また、その中で、重点の一つの家庭教育のあり方や、地域的にバランスの取れた施策は。

教育長 社会教育計画は、各教育センター、生涯学習課の事業を社会教育委員会議に提案して作成した。子どもの育成には家庭教育が基本だが、家庭教育推進事業、子育て養成講座に担当職員を受講させ、多角的な視野で家庭教育の支援、指導ができるよう、養成している。

消防団の活性化と
地域安全対策は

問 地元消防団に対する期待は格別だが、団員の補充や確保に、非常に苦労している。報酬、出勤手当、消防団活動費については。

市長 分団の活動費の予算化については、小淵沢町との合併で、定員の適正化を図り、検討する。各企業や消防団OBに、消防活動への協力をお願いする。各分団の組織に



万が一のために

については、活動状況を見据えた上で検討する。

指定管理者制度導入の 取り組みは



中村隆一議員

長坂町

ほか2件

問 指定管理者制度導入の取り組みは。住民要望や苦情を積極的に受け止め、市が責任を持つ仕組みか。

職員の身分、賃金、労働条件等を、指定管理者に約束させる規定はあるのか。

管理者の選定には、選定委員会を設置し、住民参加と公平さが保たれることが必要だが。

指定管理者選定委員については、市民の声を反映させるべきだが。



指定管理者制度の導入は

市長 公の施設は、苦情・要望について、市が責任を持って対応する。職員の身分、労働条件等を約束する規定はないが、雇用条件等は指定管理者に反映していく。

明野・日向廃棄物最終処分場問題は

問 処分場問題に詳しい専門家や地質学者は、現計画地は処分場建設に問題ありと指摘している。日向処分場については、

埋め立てが違法であることが公にされたが。

市長 県では検討委員会、地元の理解を踏まえる中、私としても、問題解決にむけ努力する。日向処分場問題については、県と連携し、慎重に推移を見守る。水質の調査結果については、広報等で周知する。

市民要求
三点について

問 県道日野春横手線へのガードレールの設置

とカーブミラーの増設。鬼坂の水害防止対策。アスベスト調査と対策。

市長 県が管理する道路なので、安全施設整備を早期実現できるように、関係部署に働きかける。

水害防止対策として、下流の水路マスの断面を大きく改良。今後水路の管理に万全を期す。

調査結果は公表。個人住宅等のアスベスト調査・相談窓口は、建築住宅課で対応している。

高根学校給食センター 建設は



中嶋 新議員

高根町

ほか1件

問 高根学校給食センターは、昭和五十一年三月に建設され、約三十年間使用しており、旧高根町時代からの懸案である。合併後、本年度予算に計画設計業務として、五〇〇万円が計上されたが、業務の取り組み状況と施設規模、調理数、建設および供用開始の時期は、

統廃合を検討中

市長 本年度、基本計画、基本設計の予算計上を行い、建設準備にとりかか

つた。高根町内小中学校五校の給食を行っているが、広域的な施設の統廃合も考える必要があり、将来を見据えた建設計画、効率的な運営等を検討している。規模、調理能力や建設時期についても、建設方針とあわせて検討を重ねている。教育長 当初は高根町の学校エリアの一千食を想定したが、市内の単独校方式



高根学校給食センター

の七校との兼ね合いを考へて、財政規模の厳しい中で、何食で何校までが妥当か十分検討していく。また、当初十八年度建設予定を、一年だけ猶予をいただきたい。

指定管理者制度導入は 問 この制度の利点は、行政のスリム化と効率化に尽きるが、指定管理者選定や契約締結の条件、特に施設の大規模な修繕費や、公的負担の割合など、協定項目の基礎的判断基準を、過去三年間程度の経理実績を参考にすると説明だが、各施設事業の管理費削減額の試算は、また、管理移行後の情報開示と、経営状況の審査および調査の体制は、

指定管理者制度導入は

一〇六施設に

導入予定

市長 導入施設は、福祉・観光・体育・農林業関係など、一〇六施設を予定し、管理移行は来年四月開始予定。具体的な削減予定額は、現時点と今後締結する協定書記載額との差が減額となる。管理の情報開示は、北杜市情報公開条例の担当部署、審査・調査は、各施設の担当部署となる。

乳幼児医療費の 完全無料化は



小澤宜夫議員

武川町

ほか1件

問 就学前の子どもに対する医療費の助成制度は、五歳の誕生日までの通院と入院に対し助成、満五歳から就学前までは、入院費だけが対象である。県内十二市の中で、北杜市だけが一月当たり一人七〇〇円の負担金があるが、就学前まですべて無料化にできないか。

武川総合交流プラザの取り組みは

で引き上げるようにとのことだが、年齢を引き上げた部分は市単独助成となる。当面は現行どおりの負担をお願いしたいが市長会を通じ、県に通院の対象年齢を、未就学児まで引き上げるよう要望している。

設として、合併前に計画され、合併特例債を財源として利用する事業だ。将来にわたって、夢のある地域社会が築ける拠点施設だが、現在の取り組みは、

規模など、関係部署で協議を重ねており、どのような複合施設にしたいかを、今後詰めていき



大きい口をあけて、あ～ん

少子化対策は



小尾直知議員

長坂町

問 市の出産祝金を第一子五十万円、第二子以降三十万円など、思い切った提案をしたい。

内閣府の調査で、フランスやドイツの出生率は高いが、合計特殊出生率が一・二九の日本では、家族政策に関する財政支出の合計が、対GDP比〇・六％に過ぎず、フランスの二・八％、ドイツの一・九％に比べて著しく低い。フランスで出生率を支える要因として、手厚くきめ細かい家族支

援を挙げている。二人以上の子どもを養育する場合は、二〇歳になるまで、所得制限なしで家族手当が毎月支給され、子どもが増え成長するとともに、支給額は増加する。また、三歳未満の子どもに対する乳幼児基礎手当、第三子からの家族補助手当、新学期手当など、子どもの成長に合わせた各種手当が整備されている。さらに、所得税は世帯単位で子ども数が多いほど、有利

な仕組みになっている。国・県でも、ようやくこれらの施策を始めると聞くが、市としても、人口減少に歯止めをかけ、若い世代のために魅力ある政策を掲げ、税制面での優遇措置や、住宅事情の向上を図り、地元企業との連携など、若い人たちにアピールする必要がある。

市としても専門部会を設置するなど、少子化対策を早急に構築する必要があるが。

各種事業を積極的に推進

市長 子育て支援については、国・県の制度、市の制度により実施しているが、いまだ少子化に歯止めがかからない。

出産祝金については、市単独で実施しているが、合併一年足らずで引き上げるのは、時期尚早と考える。住宅や税金、教育費の優遇措置は、検討課題とする。

今後は、「北杜市次世



街に子どもの声を

代育成支援行動計画」に沿った、北杜市少子化対策委員会（仮称）を設置し、小児医療体制の整備、不妊相談、治療への対応、地域の子育て支援体制の整備など、各種事業を積極的に推進していく。

収入未済額(滞納)の対策は



坂本治年議員

高根町

問 納税は市民の義務であるが、バブル崩壊後、滞納額が増加した。

市長は企業誘致、ミネラルウォーターの利活用、行政改革アクションプランの策定、組織機構の見直し、行政システムの効率化、財政の健全化等を図ると市民に示したが、税金の滞納整理も進めることが肝要だ。

市民税、県民税は連携して徴収すべきだが、市町村が単独で取り組むより、広域的な徴収体制の

構築が必要だ。県への働きかけと、滞納整理機構設立については、

滞納整理機構は必要

市長 長期にわたる景気低迷を背景に、年ごとに複雑な滞納事案が発生し、滞納額は年々増加傾向にある。広域的徴収体制の構築がより効果的で、全国初の茨城租税債権管理機構が発足し、全国で二市町村合併が進んでいる。

る状況下で、今後三位一体改革の推進により、地方交付税の削減は避けられず、自主財源としての税のウエイトは一層高くなる。

市長会などに機会あるごとに提案し、全県的な滞納整理機構の立ち上げを、積極的に働きかける。

徴収率向上は

問 職員が通常の勤務以外に、戸別に訪問して徴収率向上に努力しているが、その延べ人数、日数、



滞納整理に努力してます

収入額は。総務部長 市職員が十四日間、延べ人数一二〇人で各戸訪問を行い、七五四万三、八二〇円を徴収

した。未納者に対し督促状、催告書の発送と、分割納入も含め徴収に努める。

総合支所の権限は



ほか2件

岡野 淳議員

大泉町

問 総合支所の権限が小さく、出先機関連業務に支障がある。現在の支所機能について、どのような認識か。
市長 職員間の連携と情報の共有が必要。常に迅速な事務処理と、的確な判断が求められる。組織の見直しなど、よりよい住民サービスができるよう検討する。



大泉総合支所

清里駅前周辺
再開発事業について
問 清里エリアの観光不振の原因、誘致しようとする客層、立案から今までの経緯、事業の基本コンセプト、事業総額等、具体的内容と進捗状況は。
市長 景気低迷、交通体系の不備、観光客が集う広場がない、配慮が不十分等、要因は多い。
駅前ロータリーや駅前広場、交通体系の確立、道路の拡張、案内板の設

置等により、一割程度の増加を見込んでいる。さまざまな客層に対応できる「魅力ある観光地・清里」を目指したい。
総事業費十三億八千万円、平成十八年度から二十一年までの五カ年計画国際化統一サイン計画策定の業務委託など、着々と進んでいる。
小学校のサポート
教員制度について
問 現在、一、二年生に対しては、無条件でサポ

ート教員を派遣してもらえ、三年生以上の市独自のサポート体制は。
市長 県の「輝き三〇プラン」は一、二年生が対象。三年生以上の多人数学級についても加配を強く要望し、市単独で四人の講師を雇用している。市町村立学校職員給与負担法の改正状況を見ながら、県とも協議し検討していく。

明野廃棄物最終処分場は



篠原眞清議員

明野町

問 概況調査結果が二つの物差しで比較されている。一方はボーリング等詳細な調査結果、もう一方は表面的な概況調査のみである。
よって、地元住民から今回の候補地選定のあり方が、不透明との指摘があるが。
地元説明会で、心配を含め反対の声が多いが、地元の首長として、どう受け止めるか。
整備検討委員会は、候補地の選定と地元合意の

取り付けを役割としているが、地元合意の取り付けはどのように行うのか。
山梨県は、地元説明会で、現在の候補地選定は昨年十月二十八日を入りトとして、新たな取り組みとなつてしていると説明された候補地がこれから選定されるが、その場合、地元同意を取り付けるべきだが。
市長 処分場問題の解

決に向け、昨年四月から会議を全面公開し、透明性を確保する中で建設候補地の選定に向けた取り組みが進んでいる。
不公平な評価との指摘は、「現計画地が新候補地に比べ、情報量が多いが、偏った判断につながることはない」との専門家の意見も出され、その認識のもとに検討が行われたと理解している。
全戸を対象とした地区別説明会を十二回実施するなど、地元理解を深め

るための取り組みがあり、私としても、問題解決に向けて努力する。
地元合意を得て事業を推進するのは、県および県環境整備事業団である。検討委員会は県が設置した検討組織であり、地元合意形成に関し、県からの求めに応じて意見を述べる役割であると考え、新たな候補地が選定された場合、地元合意を取り付けた上で、事業を推進すべきと考える。



県と議会の廃棄物処分場の説明会

声のひろば

koe no hiroba

北杜市議会だよりでは、毎回市民のご意見・ご要望などさまざまな『声』を掲載してまいります。今回は7名に執筆していただきました。これからも投稿をお待ちしています。



木登りだあ〜いすき

思うこと



武川町 小林みずほ

日ごろ、物事を深く考えないで生きている私にとっては、市に対して、何か意見をとまれても、まことに困ってしまう。しかし、市議会だよりにはそのような者の文章を乗せてくださるとは、日本も良い国になったものだ。

私の祖母は、字も読めなかつたし、書けなかつた。明治の半ばの生まれだから、女は学校へなど行かせてもらえなかつた。

そんなに昔のことではないのだから、今はとてもいい時代だと思う。

この良い時代が続き、弱者が住みやすい、優しくて明るい町や市になって欲しい。それにはどうすればいいかと、少しは考えるのだが、難しく、答えが見つからない。

北杜市の農業振興を



白州町 土屋達朗

北杜市市制施行一周年を迎え、これから本格的に市の機能も動き出すことと、期待する次第です。

さて、北杜市における基幹産業は農業（稲作）であり、私たちの食生活には欠かすことのできないものです。

しかしながら、農業者の高齢化、後継者不足により、稲作農家の減少、耕作放棄地の拡大等が懸念されます。

六月に実施された、農業アンケートの結果を見ても、農業後継者について「いない」と「いるが将来農業経営を承継するかわからない」をあわせると九〇%を上回り、あと何年農業ができるかでは、「五年以内」と答えた人が四七%を占めました。

これらの状況を考えると、農業の将来が不安です。行政、農協、農家が連携し三位一体となり、将来性のある地域の実情に即した、魅力ある農業を目指した、北杜市の農業の振興を図ることが、重要であると思われまふ。

違法看板のない 美しい道路景観を



(NPO法人 八ヶ岳南麓景観を考える会)

大泉町 桑田愛子

北杜市は、世界有数の美しい自然景観に恵まれたところです。しかし、沿道には大きさや色も様々な看板や標識が乱立し、せつかくの景観を大きく損ねています。北杜市は、景観の形成」を主要施策の一つとしています。新市の誕生に伴い、町名の境界標識が落ち着いた色彩に統一されて好評ですが、一般看板は寸法、形、色ともまちまちで、数も増えているのが現状です。またそのほとんどが知事の許可を得ていない違法看板といわれています。

違法看板(たとえば、表と裏を合わせて・七m以上)は、山梨県屋外広告条例によって取り締まられるはずですが、現実には問題があるらしく、改善指導も撤去作業も進んでいません。そこで、土地の所有者や管理者にお願いいたします。知事の許可を得ていない違法看板は、設置を許可しないでいただきたいのです。

先日、天皇陛下が通られた道では、のぼり旗が一瞬ですが消えました。それだけで、道路はすっきりし、周りの風景もきれいに見えました。景観は、そこに住む人々の心を表すといえます。違法看板のない、美しい道路景観を創って、美しい景色を楽しもうではありませんか。

身近に感じる



明野町 木村智恵美

近ごろは、少子高齢化といわれている時代ですが、私は四人の子どもを育ててきた中で、第一、第二子（昭和生まれ）のころは、近所に何人かは同じくらいの子どもがいて、よく散歩がてら遊ばせたものですが、平成生まれの第三、第四子ともなると、近所には同じくらいの子どもがいて、保育園に入っただけで、同年代の子どもと接するしかないような、今も近所でも子どもたちの声を聞くのが少なくなってきました。

核家族も多く、若い人たちは、別の地区に住む家庭もあり、高齢者だけの家庭が多く見られます。

高齢者の多くなる社会で、さまざまな制度や施設がある中、これからの子どもを育てていく方々にも、いろいろな面で、緩和されるような制度や施設を、考えていただきたいと思っています。

これから小淵沢町も入り、「新・北杜市」には、これまで以上の発展を期待しています。

商店街の活性化に!



長坂町 内田安雄

シャッター通り、廃業等々、市内の商店街を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。「商店街は、その地域の顔」と言われて久しいわけですが、商店街が地域発展に寄与し、果してまいりました役割も、これまで少なくなかったのではないのでしょうか。

今、世の中はインターネット通信、身近な携帯電話、高度な車社会など、グローバル化が急速に進んで、変化してまいりました。自宅にいて、世界や日本の様々な情報や動向を瞬時にかむことができ、判断できる時代となってきました。また、物流なども自宅で同様に受け取ることが可能となつてまいりました。

私も商店街が、こうした環境を背景に、地域の皆様に仕事を通じ、どう貢献し、果たしていかれるか、正念場でもあり、新たに試行錯誤を繰り返しながら、取り組んでいるところでもあります。

商店街の更なる「賑わい」を目指し、日々精進しなければと考えております。

どうか、商店街のこの厳しい環境に「ご理解をいただき、商店街の自助努力はもちろんだこと、なお「層の賑わい」復活のため、「ご理解とご支援を市政にお願いしたい」と思います。

新市の片隅から



須玉町 笠井玉年

「収入役さんのう」と渋茶をすすりながら、語りかける五作爺さん。昔の読本に載っていた二人の税金談義。住民と役所が一番近く感じられた時の話を、私は懐かしく思い出している。

人と自然が躍動する都市、をキャッチフレーズに、誕生した北杜市は満一年を迎える。市長さん、議会、職員の皆さんの懸命の努力はうかがえても、住民にとって、役所が遠くなつた感はいなめない。合併説明会での七色の夢は、どこへ消えたのだろうか、何も伝わってこない。

地域委員会の役割のひとつは、行政ニーズの多様化と、効率化のため大きくなった自治体（役所）と、住民を結ぶために設置されたと思つ。その意味でも任務は重い。恐縮ながら、更なる努力をお願いしたい。

私の住む増富地区は、過疎も極限に達している。官民一体の英知を結集し、ふる里を守り、後代へ引き継いでいきたい。

北杜市議会に望むこと



高根町 安達 満

小泉内閣は小さな政府を目指し、民活を取り入れた行革を内政の最大課題として、国民の大きな支持を得ました。軌を一にしたように、北杜市も行財政改革の一環として、諸施設運営に指定管理者制度を検討され、その数は百を超えると思えます。これらの施設の多くは、国家財政の危機にもかかわらず、中央省庁から規格化されたメニューの消化を強いられた結果の、過剰施設の一つです。

中央から押しつけられた予算消化は、行き着くところ、地方の苦悩の種となつていきます。国はスリムになつても、そのツケが地方に回つたのでは、政府の国づくりは根底から崩れてしまつてしまうでしょう。

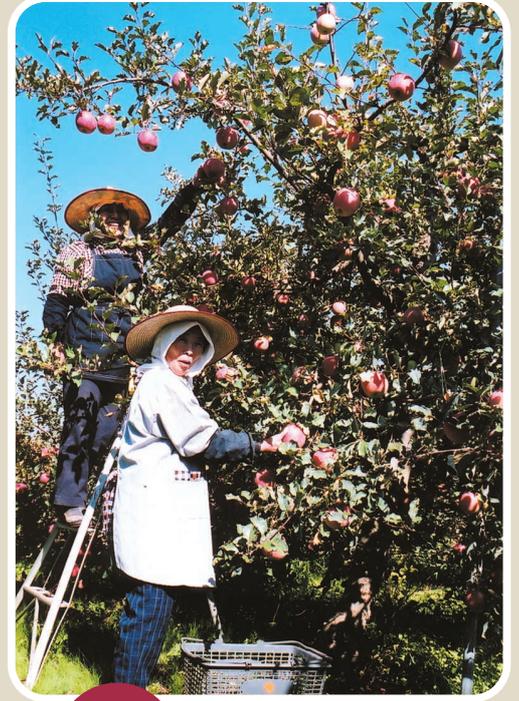
つまるところ、中央官僚体制に対して地方の自治体は弱い立場にあります。少ない国の予算を有効に使うように地方行政を支え、真に健全な北杜市を創造するために、今こそ議会の高邁な支援が必要だと思います。議員各位のますますの活躍を期待しています。



北杜市ウォッチング



北杜の自然のすばらしさ



実りの秋を迎えて



編集後記

「実るほどこうべを垂れる稲穂かな」
 収穫も一段落し、
 駆けおける紅葉前線
 を迎える季節となりました。議会だより
 も一サイクルの四回目の定例会の報告
 をすることになりました。

今議会は、北杜市誕生の十一月から三月までの十六年度決算の認定、十七年度一般会計第三号をはじめとする補正予算、ならびに効率的な行財政のあり方を見据え、市の施設の指定管理者制度に移行することにもなう、条例の改正などが主な議題でした。

また、議員発議により恒久平和の実現を願い、人と自然が躍動する環境創造都市を守るため、「非核平和都市宣言」の議決も行われました。

議会広報編集委員会では、市民の皆様から多くのご意見、ご投稿をいただき感謝しております。これからも、ご愛読をお願いするとともに、ご意見をお寄せください。

- 議会広報編集委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中村 勝一 |
| 副委員長 | 渡邊 英子 |
| 委員 | 五味 良一 |
| | 内藤 昭 |
| | 鈴木今朝和 |
| | 中村 隆一 |
| | 小澤 宜夫 |
| | 小林 忠雄 |
| | 中嶋 新 |
| | 三枝 基治 |
| | 小澤 永和 |
| | 樋泉 留美 |
- 議会事務局